

2014年10月24日

～ 脳血流変動を伴うマッサージ手技による高齢女性の脳機能活性化を解明 ～

ノエビアグループは、脳血流を大きく変動させるセルフマッサージ法が、高齢女性の認知機能や心理状態、QOL を向上させることを明らかにしました。この成果をもとに、基礎化粧品を用いたセルフマッサージ法を推奨していく予定です。

第28回国際化粧品技術者会連盟(IFSCC)パリ大会にて発表

ノエビアグループは、脳血流を大きく変動させる新たなマッサージ手技を1ヶ月間継続して行うことにより、高齢女性において認知課題時の脳血流が上昇し、課題により上昇した心拍数が抑制され、副交感神経活動が活性化することを明らかにしました。このことは、脳の血流動態を大きく変化させる特定のマッサージが加齢による脳血流変動の減弱を改善し、さらに心理状態や QOL (Quality of life; 生活の質) を向上させる可能性を示唆しています。この研究成果を、2014年10月27日～30日にフランスのパリで行われるIFSCCにて発表いたします。尚、今回の成果をもとに基礎化粧品を用いたセルフマッサージ法を推奨していく予定です。

【研究の背景】

加齢に伴う脳機能の低下がQOLに影響することから、これを予防改善する方法が求められており、脳活動を高める認知課題の有用性が報告されています。これまでノエビアでは、心地よいスキンケアやフェイシャルマッサージが脳血流を変動させ、脳活動に影響を与えることを示してきました。そこで、脳血流動態を大きく変化させるフェイシャルマッサージを開発し、そのマッサージ法が高齢女性に与える効果について検証しました。

【研究の成果】

1) 以下、頬に対して3つのマッサージを実施した結果、マッサージ手技の違いにより脳血流動態が異なることを明らかにしました。

マッサージ方法	脳血流の変化
やさしくさするマッサージ	低下
筋肉をのばすマッサージ	上昇
経穴(ツボ)をおすマッサージ	わずかに変化

2) 以下、頬に対して 4 つのマッサージを実施した結果、マッサージ手技の組み合わせは脳血流変動に影響し、「筋肉をのぼすマッサージの後にやさしくさするマッサージ(④)」が、脳血流を大きく変動させる手技であることを明らかにしました。

	マッサージ方法	脳血流の変化の度合い
①	やさしくさするマッサージ (単独)	+
②	筋肉をのぼすマッサージ (単独)	++
③	やさしくさするマッサージの後に筋肉をのぼすマッサージ	++
④	筋肉をのぼすマッサージの後にやさしくさするマッサージ	+++

※脳血流変化の度合い: 脳血流変動幅 (mM・mm) をもとに比較。(+++ > ++ > +)

3) 脳血流動態を大きく変化させるセルフマッサージ法が、高齢女性の認知機能、心理状態および QOL を向上させる可能性を明らかにしました。

マ ッ サ ー ジ 法 : 筋肉をのぼすマッサージの後にやさしくさするマッサージ

対 象 : 高齢女性(65~71 才、平均年齢 67.2 歳)

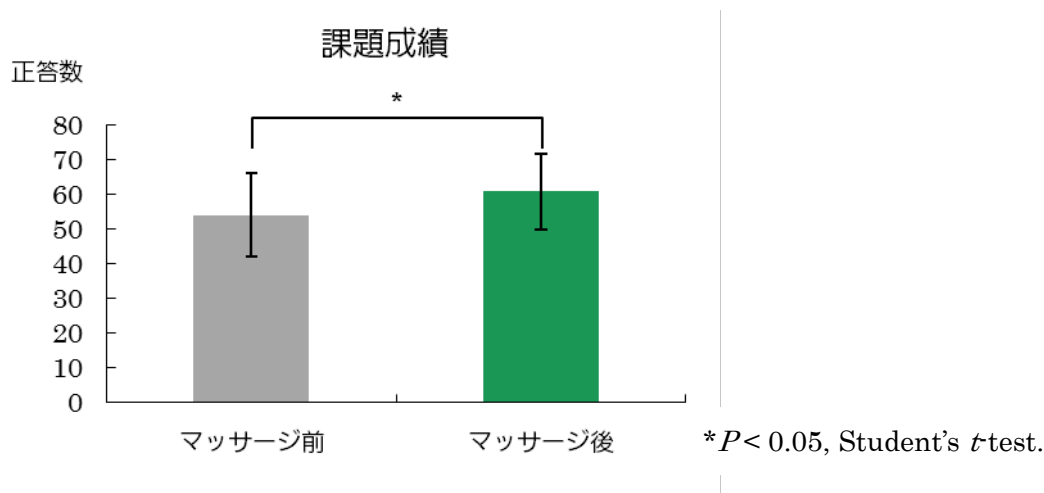
期 間 : 4 週間

評 価 項 目 : ①認知課題時における脳血流、心拍数および自律神経活動

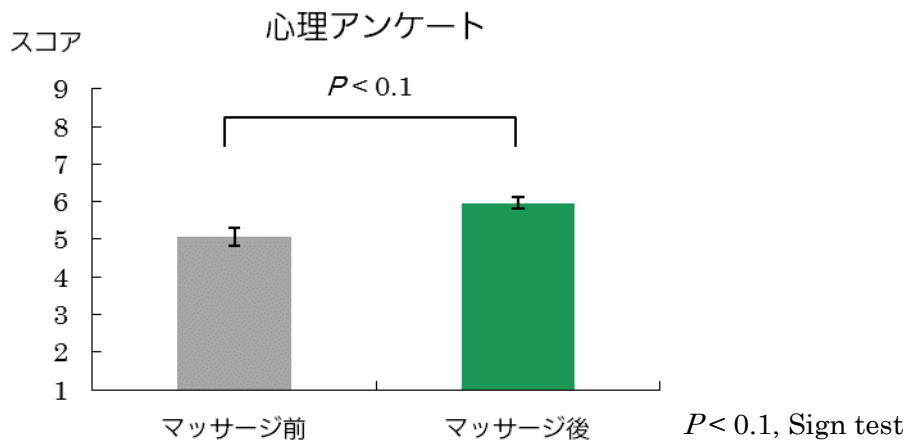
②認知課題の成績、心理状態および QOL 意識(図 1、2、3)

結 果 : マッサージ前と比較してマッサージ後、課題時の脳血流が上昇し、課題により上昇した心拍数が抑制され、副交感神経活動が活性化。さらに認知課題の成績(図 1)や心理状態(図 2)が改善し、QOL(図 3)が向上。

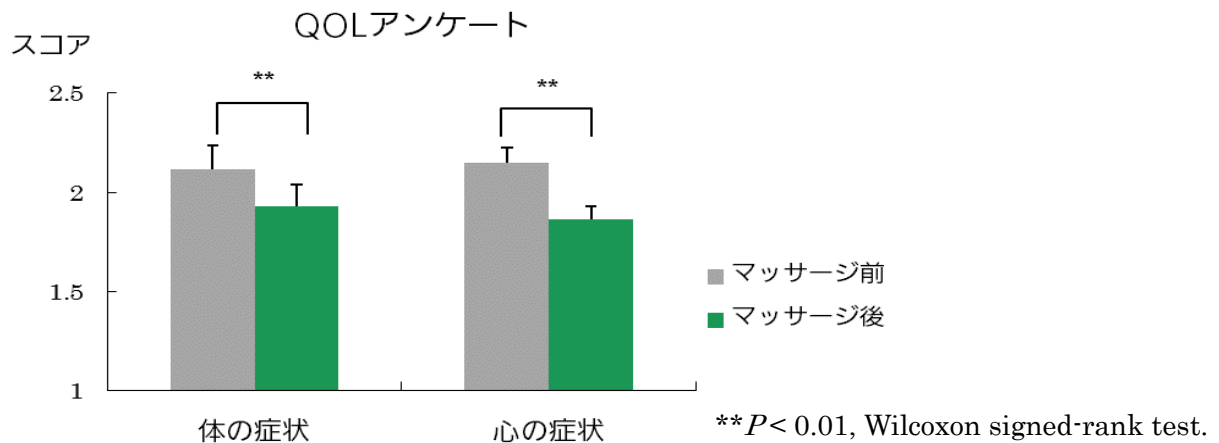
(図 1) 認知課題の成績が向上



(図 2) 認知課題後のリラックス・リフレッシュ・集中・心地よさ・満足の心理状態が改善



(図 3) 目が疲れる・肌の不調・冷え性などの体の症状、イライラする・意欲がわからない・くよくよするなど
の心の症状が軽減



<このリリースに関するお問い合わせ>

株式会社ノエビア 東京都中央区銀座 7-6-15 広報・宣伝部 後藤・森山
TEL 03-5568-0349 FAX 03-5568-0441